

おくい

平成24年 4月

No.140



# 議会だより

■発行 奥尻町議会 ■編集 広報編集特別委員会 ☎01397 2-3412 番 FAX01397 2-3929 番



学舎を後にし、いざ中学校へ！ (3月16日 青小卒業式)

**平成24年第1回定例会** …… 各会計補正予算、条例改正など

**平成24年度当初予算** …… 予算審査特別委員会開会

**平成24年第1回臨時会** …… 平成23年度一般会計補正予算など

**一般質問** …… 工藤勇議員・制野征男議員

# 第1回定例町議会

## 一般質問



漁業、農業、観光産業の所得向上の具体策を示せ

工藤 勇 議員

質問

奥尻の基幹産業である農業、漁業、観光産業について



では、国、道のひも付事業ばかりではなく、新村町長の施策として町独自の施策をぶち上げ、基幹産業としての道筋を付けるべきではないか。振興条例の内部協議、6次産業化の具体策の進捗実態を問いたい。

時間の許す限り、農・漁業・観光業者の声聞き行政に反映

新村 卓実 町長

答弁

基幹産業の関係者とは総会等に出席し、意見交換し、行政に反映させており、今後その姿勢にはかわりありません。町の振興条例に基づき助成は22年度、23年度は申請がなく予算化していませんが、奥尻高校のスクーバ事業への助成は実施しています。

6次産業化は兼業農家で小規模経営であること、生産から加工、販売までの一体化は本町では困難ですが、一部の水産庫加工業者が都市圏の物産展への参加が定着しており、波及効果を期待しています。

アンテナショップの開設

限界集落に対する町の対応策の実施を

工藤 勇 議員

質問

町内に65歳以上の高齢者が半数以上の集落を「限界集落」といいますが、奥尻町では「限界集落」が発生して、〔祭り〕等が中止せざるを得ない現状になっている。町で対策を講じなければ集落としての維持が困難になることから町としての対応を求めます。

については、東京都内の「北海道物産館」の担当者と接触した経緯がありますので、町内の生産庫加工、販売業者と取り組みについて検討の場を設けたい。



自助による機能強化の  
中で支援考える

新村 卓実 町長

【答弁】

平成23年9月末で5集落  
が限界集落になっていま  
すが、集落の自助により、地  
域活動を維持しようとする  
ところもあります。近い将  
来、こうした集落でも維持

困難になることが想定され  
ますので、行政として強要  
できませんが、町内会の統  
合などにより、機能強化を  
していく中で、行政も支援  
は考えていきたい。

【質問】  
予算化された国の緊急防  
災・減災事業債を活用した  
対象事業に認定されると、  
事業を始める際の一般財源  
が不要となり、公共施設の  
耐震化、防災拠点や避難所  
の備品等も対象となり、庁  
舎整備も可能となる。

他町の事例を老朽化して  
いる奥尻町の役場庁舎の整  
備の参考にすべきです。

他にも新聞報道での冬場



緊急防災事業を  
活用し防災整備を

制野 征男 議員

の防災に  
ついて奥  
尻町の備  
品は毛布  
だけだっ  
たので、  
当該事業  
を活用し  
た防災に  
関する整  
備を希望  
するが、  
どのよう  
な認識な  
のか伺う。



において  
実施計画  
はない。  
奥尻町  
の備蓄状  
況は毛布  
テント、  
簡易トイ  
レ、浄水  
装置等を  
保管して  
おり、業  
者との災  
害時協定  
について

事業実施計画はないが  
防災整備は進めていく

新村 卓実 町長

【答弁】

「緊急防災・減災事業計  
画」の手順として策定・提  
出する必要があり、その後  
起債手続きに入るが、当町

は食料品が町内7業者、燃  
料等が3業者、郵便協力1  
社、また新たにLPガス及  
び飲料水供給協力で2社と  
企業協定を結んでいる。  
ポータブルストーブにつ  
いては避難所に順次整備す  
る計画で、防災整備を進め  
ていく。

国保病院の建て替え  
計画の準備を

制野 征男 議員

【質問】

国保病院が建てられ開業  
してから40年近くとなり、  
建物を外から見ても壁がは  
がれ、結露ができ、雨漏り、  
さらにボイラーの痛みもす  
すんでいるという現状です。  
また大事な点は災害時に命

を救う大切な医療機関なので建物の耐震化の程度はいかほどか心配され、耐震化と老朽化が同時にすすんでいる今、早急に立て替えの計画準備にはいるべきではないか。

更に医師確保のための住宅の建築、眼科の一ヶ月に一度の検診、理学療法士の採用など諸問題についても町長の考えをお聞きます。

### 今後計画を推進 していく考え

新村 卓実 町長

【答弁】

第5期奥尻町発展計画や過疎地域自立促進市町村計画にも優先度の高いものとして国保病院の立て替えの文言は織り込んでいるが、小中学校の耐震整備や、し尿のミックス事業、港湾・漁港整備事業等の大型事業を考慮した中で、今後の計画を推進していく考えです。

医師住宅の建設はなるべく早い年度での建設を検討し、眼科については新年度からは先生にお願いし、毎月診療とする予定。

また理学療法士の採用については、4月着任する院長の診療方針や病院

経営健全化検討委員会の意見を伺いながら判断したい。

### 消費税増税 反対の要請を

制野 征男 議員

【質問】

民主党政府が消費税増税法案の土台となる「社会保障・税一体改革大綱」を閣議で決定し、消費税率を引き上げることが前提としている。

消費税増税で景気が悪化すれば全体の税収も落ち込み、収入のほとんどを衣食住の消費に回さなければならぬ低所得者ほど負担が重く格差をさらに押し広げると考えるが、町長は消費税増税における奥尻の経済的打撃の大きさを認識して

いるのか。

また、町村会を含め関係機関を挙げて、政府に反対の要請をする意志があるのか伺う。



### 檜山町村会に 課題として提起

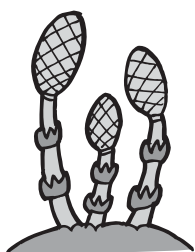
新村 卓実 町長

【答弁】

過去に消費税の増額が行われた際に、消費を減退さ

せて一時的に景気を冷え込ませたことがあったと記憶しているが、その一方で年金、医療、介護、少子化対策にあてられることを明確にした社会保障財源化とするとしているので、高齢化の進んでいる本町においては、社会保障の機能強化や維持も同時に求めていかなければならないと考えている。

また、現在まで檜山町村会、北海道町村会の議事案件としては無く、国会において議論がかわされていることから、町として反対の要請等の考えは持っていないが、指摘事項をふまえ檜山町村会に課題として提起したい。



**営業努力強く求め  
委託料の減額を**

**制野 征男 議員**

**質問**

オープンから3年目を迎えたパークゴルフ場は、本格的な活用に向けた段取りをする時期にきています。しかし、新年度に向けた収支計画を見て、本格的な活用をはかる手立てがとられていないとの認識に立ってない。スプリンクラー、機材の運搬に使用する車両のリース



の経費については適切なものとの理解しているのか。町で貸与したほうが割安になるのではないか。

**指定管理者と  
指摘事項について  
協議したい**

**新村 卓実 町長**

**答弁**

提出された収支計画については指定管理者と町長も含めて協議をかさねたものであり、現場における経費として必要なものとの認識ですが、指摘された事項について協議はしてみたい。利用促進における営業活動については、ツアーへの売り込み、関係団体に大会や定例会の開催要請、パーク商品への取り組みなどで指定管理者と協力し収入を上げる努力をすることを確認している。

平成24年第1回定例町議会は、3月6日に招集され、平成23年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算、条例等を審議し、いずれも可決され、8日閉会しました。



**専決処分**

▽平成23年度一般会計補正予算(第6号)……承認  
町道除雪に係る予算措置で、歳入歳出それぞれ、9百58万7千円を追加し、予

算総額を、35億1千9百25万4千円としました。

▽平成23年度一般会計補正予算(第7号)……承認  
町道除雪に係る予算措置で、歳入歳出それぞれ、6百88万6千円を追加し、予算総額を、35億2千6百14万円としました。

**補正予算**

□平成23年度一般会計補正予算(第8号)……原案可決  
歳入歳出予算の総額に、それぞれ6百70万7千円を追加し、歳入歳出予算総額を、35億1千9百43万3千円としました。

補正の主な内容は、次のとおりです。

**〔歳入〕**

国有提供施設所在市町村助成交付金  
△1百28万7千円

分担金及び負担金  
11万8千円  
使用料及び手数料  
△7百46万7千円

**国庫支出金**

1千5百47万6千円  
道支支出金  
87万6千円  
財産収入  
62万7千円  
繰入金  
△3千6百65万6千円

諸収入  
2万6千円  
町債  
2千1百60万円

**〔歳出〕**

議会費  
△76万9千円  
総務費  
△49万4千円  
民生費  
△6百30万5千円

衛生費  
3百24万5千円  
労働費  
△1百71万2千円

**農林水産業費**

1千8百7万9千円

**商工費**

△1百86万2千円

**土木費**

△6百33万4千円

**消防費**

△52万7千円

教育費 △5百28万円  
諸支出金 △4百74万8千円

□平成23年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号) ……原案可決

□平成23年度バス交通事業特別会計補正予算(第2号) ……原案可決

賃金12万8千円など合計6百98万9千円を減額し、歳入歳出予算総額を5億3千4百84万円としました。

賃金40万円など合計50万3千円を減額し、歳入歳出予算総額を6千9百54万6千円としました。

□平成23年度国民健康保険直営診療所特別会計補正予算(第1号) ……原案可決

□平成23年度自動車整備工場事業特別会計補正予算(第1号) ……原案可決

診療業務委託料3百27万9千円など合計3百3万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を4千43万3千円としました。

職員手当47万1千円など合計29万4千円を減額し、歳入歳出予算総額を1億2百27万7千円としました。

□平成23年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号) ……原案可決

□平成23年度あわび種育苗センター事業特別会計補正予算(第2号) ……原案可決

後期高齢者医療広域連合納付金53万5千円など合計90万円を減額し、歳入歳出予算総額を3千2百57万8千円としました。

賃金38万4千円など合計1百81万8千円を減額し、歳入歳出予算総額を4千7百16万8千円としました。

□平成23年度介護保険事業勘定特別会計補正予算(第3号) ……原案可決

介護給付費負担金など、合計1百63万8千円を追加し、歳入歳出予算総額を2億4千2百15万6千円としました。

共済組合負担金12万6千円など、合計12万1千円を追加し、歳入歳出予算総額を1千5百92万2千円としました。

□平成23年度介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算(第2号) ……原案可決

公課費など、合計45万2千円を減額し、歳入歳出予算総額を1億4百88万2千円としました。

□平成23年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) ……原案可決

公課費94万2千円など、合計2百22万3千円を減額し、歳入歳出予算総額を5千1百20万5千円としました。

□平成23年度奥尻港港湾施設用地造成事業特別会計補正予算(第1号) ……原案可決

光熱水費など、合計3千円を追加し、歳入歳出予算総額を2千9百49万4千円としました。

□平成23年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) ……原案可決

公課費など、合計45万2千円を減額し、歳入歳出予算総額を1億4百88万2千円としました。

□平成23年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) ……原案可決

職員手当1万5千円など、合計20万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を3千58万6千円としました。

算(第4号) ……原案可決

収益的収入から6百61万3千円を、収益的支出から2千5百80万円を減額し、収入支出とも合計を8億2千72万5千円としました。

また、資本的収入に23万6千円を追加し、総額1千1百73万2千円に、資本的支出から1百47万3千円を減額し、総額1千7百92万6千円としました。

# 条例

○奥尻町選挙ポスター掲示場設置に関する条例 ……原案可決

町長選挙においても掲示場を設置して行うため、秘本条例を制定しました。

○奥尻町職員定数条例の一部を改正する条例 ……原案可決

現在の職員数にあわせ、

本条例の一部を改正しました。

本条例の一部を改正しました。

○奥尻町介護保険条例の一部を改正する条例  
……………原案可決

つたため、本条例の一部を改正しました。

○北海道市町村総合事務組合規約の変更について  
……………原案可決

○委員会の委員等の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例  
……………原案可決

○奥尻町乳幼児等医療費助成事業に関する条例の一部を改正する条例  
……………原案可決

第5期介護保険計画に基づき、本条例の一部を改正しました。

○体育指導員設置条例の一部を改正する条例  
……………原案可決

上砂川町の砂川地区広域消防組合への加入に伴い、地方自治法に基づき、規約を変更しました。

身体障害者相談員及び知的障害者相談員の報酬を追加するため、本条例の一部を改正しました。

児童福祉法の一部改正に伴い、本条例の一部を改正しました。

○奥尻地区水産物流通荷さばき施設の設置及び管理条例  
……………原案可決

スポーツ基本法の制定に伴い、本条例の一部を改正しました。

○辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更に  
……………原案可決

○奥尻町基金条例の一部を改正する条例  
……………原案可決

○重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例  
……………原案可決

水産物流通荷さばき施設を設置するため、本条例を制定しました。

その他

事業変更に伴い、内容を変更しました。

助成事業終了により、本条例の一部を改正しました。

児童福祉法の一部改正に伴い、本条例の一部を改正しました。

○奥尻町管住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例  
……………原案可決

○奥尻町公の施設に係る指定管理者の指定について  
……………原案可決

人事

○奥尻町税条例の一部を改正する条例  
……………原案可決

○奥尻町地域生活支援事業実施条例の一部を改正する条例  
……………原案可決

関係法律の施行に伴い、本町の住宅事情を勘案し、本条例の一部を改正しました。

奥尻地区水産物流通荷さばき施設を管理運営する指定管理者の指定にあたり、地方自治法に基づき、議決を行ないました。

◇人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて  
……………同意

関係法令に準拠し、本条例の一部を改正しました。

障害者自立支援法の改正に伴い、本条例の一部を改正しました。

○奥尻町防災会議条例の一部を改正する条例  
……………原案可決

【指定管理者の名称】  
ひやま漁業協同組合  
代表理事組合長  
市山亮悦

奥尻町字青苗283番地1  
押見敏文氏  
任期 平成24年7月1日〜  
平成27年6月30日

○奥尻町手数料条例の一部を改正する条例  
……………原案可決

事務の権限委譲により、

水防法の条項が変更とな

# 議会運営委員会

3月2日及び3月21日に開会された同委員会の概要についてお知らせします。

## 【3月2日】

3月6日に開会する第1回定例会の議事運営について審議しました。

会期は6月9日までの4日間とし、議事日程などを決定しました。

委員から提起された反問権について検討することを確認しました。

## 【3月8日】

予算審査特別委員会に付託された案件の審議が終了したことから、会期を繰り上げ、8日をもって終了とすることを決定しました。

# 総務産業 常任委員会

1月20日及び2月21日に開会された同委員会の概要についてお知らせします。

## 【1月20日】

地域政策課関係  
◎観光振興策として埼玉県



方面の旅行代理店廻り、修学旅行の受け入れのための各学校、道央圏の旅行代理店に資料の送付による案内をしている。との担当者から報告がありました。また、函館市に東北地方から避難している子どもたちを奥尻島に招き、スキーを楽しんでもらう「スノーパースキーin 奥尻」として2月5日に開催する。

さらに島の自然を活かした「自然体験プログラム」を作成しており、観光客を誘致に結びつけたい。との報告がありました。委員から防災教育の研修を受け入れる体制にふさわしい防災の整備を求める意見、新幹線開業に向けての渡島・檜山管内の連携に向けての準備に入るべきだとの意見が出されました。

◎自然エネルギーの開発について  
知事の発言から地域新

エネルギー導入推進体制整備事業のプロジェクトチームが結成された。従来の地熱、風力の調査報告に基づき檜山振興局内で奥尻島にふさわしい新エネルギーの報告が提出されることになった。と報告がありました。

委員から新エネルギー導入による町の負担、バイオマスなどの開発による雇用の確保について意見が出されました。

町側から導入による町の負担が伴うものです。太陽光、風力について試算がされており採算性が課題になる。との回答がありました。

## 教育委員会関係

◎小中学校の統廃合の検討の推移について報告があり、青苗小学校の体育館は平成24年度に設計委託、平成25年に着工するが、平成26年度の夏休み前の完成の予定。奥尻小

学校は宮津小学校に平成26年度に統合する。平成24年に宮津小の教室の増築をし、平成25年に完成させる。中学校の統合については小学校の統合後に検討に入る。との報告がありました。委員から統合後の跡地の活用、スクールバスの適切な運行、中学校の統合については、奥尻高校の活用のために、町立高校への移管も検討課題になる、などの意見がありました





【2月21日】

水産農林課関係

◎町議会として初となる道の水産技術普及所と養殖事業の現状と課題についての意見交換を行いました。

出席した吉田所長からナマコは1百グラムから1百50グラムが産卵にもっとも適した成育状況にあること、現在の価格がキロ6千6百円から3千円以下になっていることから放流技術の向上が資源回復への足がかりになる。

イワガキについては2千個程度は漁獲可能かと思ふ。小型のものの発生については今後の調査が必要。ニシンについてはDNAの関係で上ノ国町のものや放流することになる。マダラのブランド化については今後の漁家の経営体の問題だ。などについての意見が交わされました。

◎3月15日に木質バイオ

マスの講演とパネルディスカッションが開催されるとの報告がありました。

住民課関係

◎4月からの介護保険料についての基準額について、従来の2千8百円を基金取り崩して維持することにしたので、3月議会に条例案を提案する、との報告がありました。

議員研修会

2月7日に厚沢部町で榎山町村議会議長会主催による議員研修会が開かれ、議員8名が参加しました。

明星大学経済学部教授の関満博氏による『東日本大震災後の地域産業振興』、そして、北海道大学観光学高等研究センター長の石森

秀三氏による『観光は本当に地域の未来を拓くか』と題した講演が行なわれました。

また、閉会に当たっては、榎山町村議会議長会副会長でもある麓議長が閉会の挨拶をしました。



議会は町政と皆さんの茶の間をつなぐパイプです。

# 議会を傍聴しませんか!

手続きは簡単

傍聴者名簿に住所、氏名を記入するだけです。

☆☆☆☆☆ 次の定例会は6月です。☆☆☆☆☆

# 臨時議会

第1回 (3月21日)

## 補正予算

◇平成23年度奥尻町一般会計補正予算(第9号)

………原案可決  
手数料など、歳入歳出それぞれ1百20万2千円を追加し、予算総額を35億2千63万5千円としました。

〔歳入〕  
繰入金 1百20万2千円

〔歳出〕  
総務費 46万7千円  
商工費 73万5千円

◇平成24年度奥尻町一般会計補正予算(第1号)

………原案可決  
賃金など、歳入歳出それぞれ4百81万円を追加し、予算総額を31億6千22万6千円としました。

〔歳入〕  
繰入金 4百81万円

〔歳出〕  
総務費 2百69万4千円  
教育費 2百11万6千円

# お 願 い

議長宛の文書や案内状などは、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議長の私宅に送付しないで、直接、議会事務局に差出人等を明記のうえ、送付してください。

なお、期日、期限等があるものについては、早めにお願います。

◆送付先 奥尻町字奥尻806番地  
奥尻町議会議長 宛

# 平成24年度当初予算

## 一般会計【歳入内訳】

単位：千円

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較
町 税	284,970	302,399	△ 17,429
地 方 譲 与 税	31,199	31,901	△ 702
利 子 割 交 付 金	436	1,094	△ 658
配 当 割 交 付 金	254	173	81
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	88	65	23
地 方 消 費 税 交 付 金	27,613	25,763	1,850
自 動 車 取 得 税 交 付 金	5,641	4,690	951
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	15,780	17,067	△ 1,287
地 方 特 例 交 付 金	110	6,055	△ 5,945
地 方 交 付 税	1,903,262	2,013,950	△ 110,688
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1	1	0
分 担 金 及 び 負 担 金	6,422	76	6,346
使 用 料 及 び 手 数 料	81,375	83,857	△ 2,482
国 庫 支 出 金	75,436	67,812	7,624
道 支 出 金	224,047	279,418	△ 55,371
財 産 収 入	14,554	11,699	2,855
寄 附 金	5,000	5,000	0
繰 入 金	91,623	28,914	62,709
繰 越 金	1,000	1,000	0
諸 収 入	89,397	82,760	6,637
町 債	297,208	271,902	25,306

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較
歳 入 合 計	3,155,416	3,235,596	△ 80,180

**予算案は予算  
委員会へ付託**

平成24年度奥尻町一般会計・各特別会計予算、合計14件の審査については、議長を除く7名の議員で構成する《予算審査特別委員会》を3月6日、本会議終了後に設置し、8日までの3日間の会期となりました。なお、委員長には制野征男議員、副委員長には紀伊国俊美議員が選出されました。

7日と8日の両日にわたって審議が続けられた結果、付託された平成24年度各会計予算案について原案のとおり可決されることに決定しました。

**一般会計【歳出内訳】**

単位：千円

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較
議 会 費	35,042	43,338	△ 8,296
総 務 費	798,579	785,623	12,956
民 生 費	363,082	325,279	37,803
衛 生 費	265,680	303,250	△ 37,570
労 働 費	5,885	29,200	△ 23,315
農 林 水 産 業 費	162,881	196,704	△ 33,823
商 工 費	68,531	72,978	△ 4,447
土 木 費	331,111	308,997	22,114
消 防 費	154,528	161,747	△ 7,219
教 育 費	189,363	160,060	29,303
公 債 費	698,169	720,518	△ 22,349
諸 支 出 金	80,565	125,902	△ 45,337
予 備 費	2,000	2,000	0

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較
歳 出 合 計	3,155,416	3,235,596	△ 80,180



# 各特別会計の予算の総額は 20億3千9百88万5千円

## 平成24年度 奥尻町各特別会計予算

単位：千円

区 分 会 計 名	本年度予算額	前年度予算額	比 較
バス交通事業特別会計	51,464	74,968	△ 23,504
自動車整備工場事業特別会計	84,362	102,571	△ 18,209
あわび種苗育成センター事業特別会計	47,807	48,709	△ 902
国民健康保険事業勘定特別会計	465,141	481,411	△ 16,270
国民健康保険直営診療所特別会計	39,410	37,394	2,016
後期高齢者医療事業特別会計	35,608	31,225	4,383
介護保険事業勘定特別会計	236,961	214,195	22,766
介護保険介護サービス事業勘定特別会計	15,882	15,746	136
簡易水道事業特別会計	58,594	52,290	6,304
港湾施設用地造成事業特別会計	30,169	29,491	678
公共下水道事業特別会計	106,728	105,334	1,394
漁業集落排水事業特別会計	32,123	30,377	1,746
国民健康保険病院事業会計	835,636	852,596	△ 16,960
総 計	2,039,885	2,076,307	△ 36,422

## 議会のうごき

### 1 月

- 20日 総務産業常任委員会
- 22～23日 函館奥尻会（函館市）議長及び議員1名出席
- 23～24日 檜山町村議会臨時議長会（江差町）議長出席
- 24～26日 第1回北海道市町村職員退職手当組合議会定例会（札幌市）議長出席

### 2 月

- 6～8日 檜山町村議会議員研修会（厚沢部町）議員8名出席
- 21日 総務産業常任委員会

### 3 月

- 2日 議会運営委員会
- 6～8日 第1回町議会定例会
- 6～8日 平成24年度予算審査特別委員会
- 13日 広報編集特別委員会
- 21日 議会運営委員会
- 21日 第1回町議会臨時会

## 編集を終えて

この編集後記の原稿を書いている段階で、3月28日から2泊3日の日程で福島県の子どもたち5人が奥尻島で過ごすことが決まりました。役場が中心になって対応してくれることになっていますが、短い春休みのひと時でも奥尻島の春をゆっくりと過ごして欲しいと思います。

今回の来島を足がかりとして、長い夏休みには、大勢でかつ多くの子どもたちが、群青の海と離島では北限になるブナの森で、思い切り駆け回る機会をぜひともつくりたいものです。

福島の子どもたちの来島は、放射能から子どもたちを守りたいとの、思いを深める全国の人からの贈りものです。奥尻島もその一翼を担うことは、19年前に全国から受けた南西沖地震における支援のわずかばかりのお礼になるものです。心から歓迎するものです。